

# エリート性処理 マイスターの リエロ様が 射精管理を 懇願する本。

This book is "kangoku senkan"  
fanbook  
Presented by Garyuh-Chitai  
2017 Summer



**R-18**  
成年向け  
同人誌







きっかけは  
ボーガン様に見せ  
られたナオミの射精  
管理調教記録

あ…あのナオミが  
…こんな…?

メス豚としてあらゆる  
マソ調教を受けてきた  
私にも

童貞兵の淫猥な姿は  
激しい憧れと嫉妬を  
抱かせた

ああ…チンポ…  
チンポいじめ…  
すこい…

そのチンポマソ願望は  
すぐに見抜かれ

私はフタナリ  
肉便器に改造された

んほおおおっ♡♡♡  
センスリチンポおおっ♡  
こ…こんなに  
気持ちよかったなんてっ!

見てっ♡見てええっ♡  
どスケベキンタマ汁  
ううっ!

わ…わたヒ チンポの  
ためなら なんでも…  
なんでもしますううっ♡

御主人様に飽きられ  
もはや性奴隷としての  
存在価値すら危つくなっ  
いた私にとっても  
この変化は僥倖だった





艦内でチンポ凌辱され  
基地では女をレイプし  
時には男も犯す

おい 今度奇る  
中立惑星で売存  
して来いよ

あのリエリ・  
ピシヨップだと  
分かれれば輪ぎ放題だぜ

だめ…だめよ♥  
お金なんかいらなのっ♥  
タダで犯されたいのっ♥

再び「性欲マイスター」  
なごと呼はれ順番待ちが  
出るほどになったが

何かが  
物足りなかった

そう それは…  
やはり射精管理

ああ♥ねえ…  
見てっ♥ナオミっ!

貴女の射精管理に  
憧れて…チンポの皮を  
貞操カバーにしたのっ♥

この中…溜めこんだ  
チンカスとチンポ汁が  
ぐっちやぐっちやに  
混ざって…  
すこいんだからあ♥

キンタマもすつとムスムス  
うずいてつらいけど…  
それが 死ぬほど  
気持ちいいのっ♥♥♥

だからもつともつと  
いじめられたいのっ!  
この変態に射精禁止  
調教してくださいのっ♥







ずいぶんな言い草  
ですが誤解をされて  
いるようですね

は  
は

マソフタには命令も  
懇願もする権利は  
ありません

そして射精管理は  
射精『禁止』とイコール  
ではなく

あつ...や...♡  
マンコ...ナオミの  
マンコ穴...♡

ガ  
ガ

...の逆もある。



というのが建前  
ですが本心は

待って！ 分かった...  
分かったからもう  
もう...許してっ

許してください  
ナオミ様あつ！

だめ  
だめ

こんなきつたない  
クソエロ包茎チンポ  
見せられて

我慢できる女なんか  
いるわけないでしょう♪

んぎやあああ  
あああああ♡

ほら出せ♪ 出せ♪  
黄ばんだこつてり  
孕ませ精子♡

全部子宮に排泄  
しちやえ♡

おおうつ♡

おほおお！  
んほおおつ！

キ  
キ  
キ

ガ  
ガ  
ガ





あああああ♥  
イグっ!  
いっぐうううっ♥

ナオミに種付けっ 私に  
精子…ナオミのマンコに  
着床させてるうっ♥♥♥

久しぶりのマンコ  
便器セックスうっ♥

リエリ様のザーメン  
便器セックスで…  
私も…イキますっ♥

今まで待たされた分  
たっつっつぶり  
イッてもらいます  
からねリエリ様っ!



ああ…とうとうできた  
リエリ様と生セックス…

ずっと…ずっと昔から  
やりたかった

犯してほしかった  
中出しして欲しかった

幼い時に会った日から  
リエリ様が結婚した後も  
ポーガンの肉便器に  
なったあとも ずっと  
ずっと…

ずっと…昔…  
昔って…いつ…?

私はいつからナオミと  
…一緒にいたっけ…?

確かご主人様と  
出会っ前…そうだ…  
あの男よりも前から…

おほおほ

おーっ



泣こうが叫ぼうが  
快楽に流され何度  
射精しようが

脳が白濁するまで  
ナオミの射精調教は  
続いた

全て終わった時  
彼女は優しく私の  
チンポ包皮を被せ

しっかりと  
結んだ

ああ：私は本当に  
何も分かって  
いなかった

射精管理の意味も  
苦痛と快楽の関係も

チンポの中を駆け巡った  
静と動の物語は、まるで  
生物の共生関係のように  
密接であり

人間が長い時間をかけて  
育む信頼関係のように  
思えた

その後、帰還指示が  
あの男から届いたが  
私は無視をした

何故だか分からないし  
誰もそれを聞かなかつた

覚醒したオスの本能が  
それをさせたのか  
単にこの美しいご主人様に  
溺れてしまったのか

その答えはきくと彼女を  
孕ませたとき分かる気が  
する

そんな甘い期待に胸は  
高鳴り、私はまた  
勃起してしまうのだった